




ふりがな 氏名	しらかわ よういち	都道府県	愛知県	
	白川 陽一			
所属/肩書	名古屋市青少年交流プラザ（ユースクエア）/ ユースワーカー			
私のESD活動	地域・まちにつながる若者を育てるための、社会システムの変容に働きかける事業の展開			
関心・活動のSDGs				

## 活動の概要

私が勤める施設のある名古屋市北区柳原地区には、国内で 2 番目に古い商店街があります。しかし歴史が長いだけに、商店街で商売をする方や地域住民は高齢化し、また空き店舗率は 5 割近くで、現在は地域経済が十分発展しているとはいえない状況です。

一方で、未来の変化を予感させる出来事もこの地区で起こっています。最たるものは、数年前に新しい大学キャンパスが地区に建てられたこと、そして数年後に別大学が市外から移設してくることです。このことにより数年後のこの地区は学生人口が現在の昼間人口とほぼ同数となります。現在の「高齢者のまち」から「若者のまち」へ劇的に転換する可能性があるのです。

今年度、私は、地区のありたい未来を探求することを目的とした事業を展開しました。それは、商店街や大学、その他この地区の関係者となりうる人々と若者がつながり、地区の未来を対話する連続講座です。当事業の先駆的なところは、未来について対話したストーリーが「すごろく」に落とし込まれ、作品化されたことです。「すごろく」を作る過程がまちの未来を考えることと同期するようになっていきます。

「すごろく」は、商店街の夏祭りブースで発表されました。講座で対話した内容を、楽しみながら地元住民に知ってもらうことが出展の狙いでした。結果、普通に遊ぶだけなら小学生でも充分、作品の背景にふれながら遊ぶなら大人でも可能という、懐の深い作品として受け入れられました。

・「名古屋市青少年交流プラザ ユースクエア『サステナまち計画』」 <https://www.facebook.com/ys758/posts/1700048126745956>  
/ <https://www.facebook.com/ys758/posts/1820162964734471>

## 今後の活動の展望と周囲や社会への還元

まずは、コンファレンスで得た「持続的な開発」についての理解に照らし合わせ、自分の活動が、どのような点で「持続的な開発」に寄与しているのかを改めて捉え直したいと思います。その上で、よりよい社会づくりは自分の身の回りから始まると考え、今私が勤めている施設に訪れているたくさんの若者たちを中心に、今回のコンファレンスで得た私の体験・知見を、自分の言葉で伝えていきたいと思っています。

また、未来を変えるリーダーとして、私自身が若者のロールモデルになっていくことも重要と考えます。今の私が身の回りの若者にもっとも影響を与えることができる機会は、現在勤めている施設の職員として、社会的インパクトがある事業を推進していくことによって創出できると思っています。若者と共に創り上げるこれまでの事業づくりのスタンスはそのままに、若者にとって、社会にとって、地球にとってよき変容をもたらし続ける、持続可能な未来を創る事業を推進していきたいと考えます。その際は、コンファレンスで得たネットワークも活かしつつ、グローバルな視野に立った事業を念頭において展開させることができれば尚望ましいと思っています。